



●国道400号は茨城県水戸市が始点で終点は福島県西会津なのだが、ほかの路線と重複している区間が多い。そのため、特に茨城県内ではその存在があまり知られていないようだ。ちなみに、この塩原温泉を通る区間は、ほかの路線と重複していない純“国道400号”である。西那須野塩原ICで降りてすぐにその入り口があり、両脇には天然のアカマツからなる千本松が鬱蒼と立ち並ぶ



千本松を抜ける400号 大吊橋を眺めて塩原へ

「ツーリングルートが決まらない……。悶々としながらバイクを洗車していると、車体に記されたある数字が目が止まった。「これだ！」

翌日、私は林を電話で起こし、「走りに行きますよ！」と栃木県宇都宮市の先に位置する東北道の上河内SAまで強引に連れ出す。朝食を食べながら、「今日の目的地は塩原温泉です」と告げても「はあ、そうですか」と眠い様子。そして二人は、西那須野塩原ICまで走り、今回の旅の目的「国道400号」の標識に出会うのであった。「国道400号号として国産400クラス……」。林は今回の趣旨を飲み込めたらしく苦笑い。

そんな林にはお構いなく少し走ったところにある「もみじ谷大吊橋」へ向かった。本州最長の歩行者専用吊橋からは雄大な自然を一望できる。そして、清々しい顔の林に私はもうひとつの目的をここで伝えた。「400円のスポットを巡りましょう」。

じつはこの国道400号、400円で楽しめるスポットが多数あることを下調べで発見していた。これを聞いた林はまた失笑を隠しきれない様子。雨もばらついてきたが、私は気にせず連れまわし続けた。

●紅葉の時期には駐車場が埋まってしまうこともあるという、もみじ谷大吊橋。“恋人の聖地”としても人気であり、私たちも恋人を作って再び来ることを誓った。ダメだったら吊り橋の反対側にあるかっぱ村の河童石像の前で立こう



小野 真
●伊予国から上京した新人スタッフ。大学時代にBMW R100RSを購入し、北海道や九州も走った。次は沖縄上陸を計画中



林 康平
●ツーリング先でも節約を意識する本誌スタッフ。人のよさをつけ込まれ、今回はカメラマン役を押しつけられることに……

